

# SMILE



有限会社 井坪工務店

VOL.06 HOUSE & LIFESTYLE MAGAZINE

春号

Spring

MY LIFE

株式会社 石垣島はちみつ

## 枝並 敵日・由香

暮らしのà la carte

### ムダなく美味しい! 食費がグンと減る節約術

#### 施工事例集

見て楽しむ、読んで納得! 当社の家づくりがわかる

暮らしの中のESSAY

ひと・こと・ものかたり 身だしなみ美人には福来たる。

お取り寄せの逸品

伝承の逸品「毛玉取りブラシ」

気づいたこと、感じたことをつれづれなるままに書き綴る

# 社長のひとり言



2016年 3月

## 愛用の道具

### 父の形見に、昔を想う

会社を継承して今年で10年になる。

その会社を大切に守ってきた父親は仕事人間だったので私物は少なかった。そんな父親からの形見は、革製の筆箱と当時最新式のPanasonicの髭剃り。両方共生前の父が使っていた愛用品だ。

愛用品…常に自分が身に付け大切に使用している道具やモノ。格好良く言うところの相棒のようなモノ。現在の私の愛用品は、その利便性も手伝ってデジタル化してきている。つまり長年の相棒ではなく使い捨てのモノが多い。私は、生まれながらに大工の家で育ったので、日々目にする大人の多くは大工職人だった。古い平屋の住宅に隣接された10帖位の事務所と風通しの良い加工場。辺り一面の桑畑が私の遊び場だった。

ある日、加工場に忍び込み大工さんの玄能(金槌)を無断で拝借し庭で端材などを組立て遊んでいた。そして、その玄能を放置したまま家に帰ってしまった事がある。

夕方になり年配の大工さんが玄関で私を呼んだ。その手には汚れた玄能が大切に握られていた。

『とっちゃ(私の呼び名)これで遊んだ?』

『はい…』(一応反省はしていた)

『俺はこの道具で家族にご飯を食べさせているから、これは大切なモノなんだに』

優しいその言葉が逆に身にしみた…

その夜、帰宅した父親にはコテンパンに叱られた。聖域での冒涇は幼い

子どもの私にも理解が出来たし、ものすごく反省をした。

時が過ぎ大工の道を踏み出すことになった私。手道具の仕込みを父親がしてくれた。

『これからこれで生きて行くのだから道具は大切なんだ』と言われた。

板前の包丁、華道の鉞のように、良い職人は道具を大切に使う。大工も同様である。

私が現場に行くと、昔から知るはずのオジサン達が輝いて見えた。職人の道を歩みだした事で見えたモノがあったのだろう。それから現在までに、現場も随分と機械化が進んだが、未だに要所は手作業・手道具の職人技である。だから、この道には愛用品がしっかりと受け継がれている。

そんな事を思いながら、正月に久しぶりに親父の愛用品に触れた。

最新の髭剃りは故障して使えなくなってしまったが捨てられずに、私の部屋のオブジェになっている。

革の筆箱は全く問題ない。ささやかな年頭行事としてオイルでメンテナンスした。いい味が出ている。大切に使えば息子にも渡せそうだ。使い捨てでないモノへの愛着は利便性の他にも何かがある。これからもその何かを大切にしていきたい。

いつの時代も、大切なモノ

は人の手で作られ、大切な

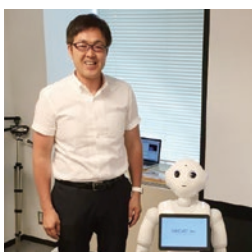
技は人の手で伝えられ、大

切ない事も人に守られて行く

ものだから。



Text by Toshiharu Itsubo Mar.2016



## Profile

井坪 寿晴

(有)井坪工務店代表取締役社長

趣味は運動と読書。

上達しない写真。

最近のMyブームは音楽鑑賞。

美しい音楽に心が癒されます。

## Recent

毎年流行るインフルエンザ。

インフルエンザの流行と無縁の私。

その事を家で自慢すると、妻から家族は皆予防接種を受けているとの事。病原菌を家に持ち込まないようにしてくれている家族の心遣いに守られている私です。感謝!

●HPにて「社長のブログ」を日々更新中!ぜひご覧下さい。

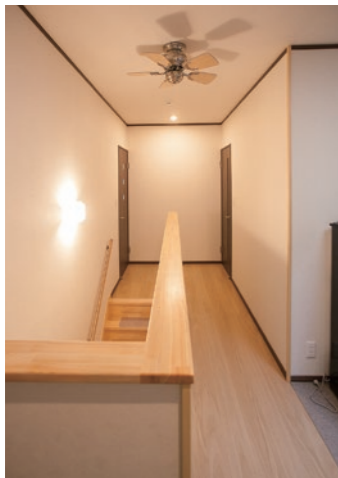
# 1 施工事例集

松川町 | Y様邸

こだわりの最新事例を随時掲載。当社の家づくりが分かります。



今となっては珍しい本棟造りが、圧倒的な存在感を演出している。



2Fホールに設けたシーリングファンは、1Fと2Fの対流を促進し、光熱費低減の手助けをする。



長い緑側は障子戸も天然木で揃え、統一色で引き締まった空間に。



格子天井、天然木の床、造り付けの木の下駄箱と、木の香あふれる玄関とホール。現代においても古き良き造りは愛される。



笑い声が聞こえてきそうな「茶の間」。家族が集まってお茶を飲みながら楽しく会話ができる、広くて明るい空間。

**お** 子様が誕生したことをきっかけに将来の暮らし方を考え出したY様。「いつかは家を建て直したいね」と話していた夢を家族全員が強く抱くようになったそう。

経験のない家づくり。飯田をはじめ伊那まで足を運んでの展示場見学。インターネットを利用してホームページを検索するなど検討を重ね、最終的には3社に絞った。

その中のひとつが井坪工務店。ご近所や親戚にも建てた家族があり、評判は聞いていた。家族で「どんな住まいにしたいか」の話し合いを重ねる中で、上がってきたのは「木造の日本家屋」と人が集まる「2間続きのお座敷」。地元と人を大切にされている気持ちの表れであった。

弊社に家づくりを任せて頂いたのもこのふたつが一致したから。加えて、小さな我が子の代まで在り続ける家であってほしいという願いから。三世代が一緒に、永く過ごせる「暮らし」を目指し、チーム井坪一丸となり家づくりのお手伝いをさせて頂きました。

その中でY様がこだわったのは2間続きのお座敷と外観。特にお父様が本棟造りを強く希望した。

昔はあちらこちらで建てられていた伊那谷の景色になじむ「本棟造り」の住宅。弊社でも過去には数多く手掛けさせて頂いたが、ここ数年は時代の変化なのかバタリとその造りを組むことはなかった。当時、最前線にいた大工職人は引退する中でも、その技術は今でも受け継がれている。数年ぶりに本棟造りをやらせていただいた。

## 小さな我が子に継ぐ、世代を超えて愛される住まい

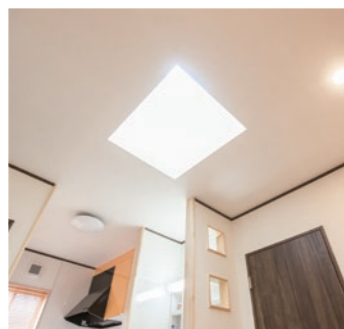
昔ながらの日本家屋で織りなす、三世代同居の家。



Y様ご家族

### DATA

- 敷地面積 559.85㎡ (169.17坪)
- 延床面積 1F=145.70㎡ (43.98坪)
- 2F= 72.04㎡ (21.75坪)
- 合計/217.74㎡ (65.73坪)



天井窓からあふれる自然光は、キッチンを明るい空間に演出してくれる。

大屋根のその佇まいは圧倒的な存在感があり、化粧庇など細かなところにも大工の手仕事が生かされている。玄関ホールも昔ながらのどこか懐かしさと木の温かみを感じられる。そのまま続く、2間続きのお座敷は縁側と共に人の縁を繋ぐ大切な場所となることだろう。リビングは家族が自然と集まりたくなるような「茶の間」。皆でこたつを囲み、些細なことを談笑できるような家族の空間。対面キッチンやダイニングとも一体なので、お互いの顔を見合わせながら料理や子育てを行う。WB工法や高性能な設備機器も手助けし、伝統的な和空間の中に、現代の暮らし方が融合した。

その暮らしは始まったばかり。お子様の成長と共に変化していく暮らしを定期点検などを通して支えていきたいと思う。

施主様のこだわりがいっぱい詰まった施工事例を、厳選してお届けします。



以前の住宅を感じさせる重厚なたたずまい。



今もなお、木の香漂うリビングは癒しの空間。



生活にゆとりを持てる空間は階段幅にも現れる。



欄間一つにも伝統的な家づくりへのこだわりが生きている。



広々とした2Fホール。現代的な中にも格子のアクセントを。



格子天井を始め、木の魅力を生かす玄関と取次。床畳は訪れる方を温もりでもてなす。

Y様がお住まいだった家はなんと築200年の古民家。歴史と思い出そのものだった住まいですが、さすがに老朽化が目立ってきた。特にお風呂は冬とても寒く、不便を感じたため、手を加えようとしてリフォームにするか、新しく建て直すかを考え始めた。

伝統的な住宅に愛着をお持ちの主人。以前から気になっていた家を写真に収めたり、中を見せてもらったりと自らが望む家づくりを探し求めた。

そんな折、弊社会長と巡り合い話す機会があった。

伝統建築に誇りとこだわりを持った大工がたくさん在籍していること、これまで多くの和風建築を造り出してきたことなどを話すうちに、リフォームするにしても、新築するにしても「坪坪に任せるよ」と全幅の信頼を頂いた。

迷い、悩み行き着いたのは「建て直す」こと。この200年住宅のように永く住まうことが出来ることを約束し、伝統的な和風住宅にこだわった。新しい住まいは骨組・仕上げ共に全て天然木材を使用。外観は威風堂々という言葉がピッタリの大きな切妻屋根が印象的な本格的な本棟造りに、玄関ドアはサッシを使用せず、天然木で歴史を再現した。玄関に入ると印象的な格子天井、取次には畳を敷き、木の温もりと畳の足触りが訪れる人を優しくもてなす。リビングは天井をはじめ床・壁の腰板まで木の香りが漂う天然木仕上げに、一番

DATA

- 敷地面積 858.52㎡ (259.18坪)
- 延床面積 1F=212.43㎡ (64.13坪)  
2F=124.49㎡ (37.58坪)  
合計/336.92㎡ (101.71坪)



別の場所にあった蔵を母屋の側に。利便性が増した。

長く過ごす場所が安らぎの空間となった。時が経つにつれてこの場所にもこの家の味が出てきた。

建物と共に庭にも手を加えた。離れたところにあった蔵を曳家し母屋の近くに収納部屋として使用することに。母屋の空間にもゆとりが生まれた。その上、中庭も広がり、落ち着きが増した。

「年月が進むにつれて今後が楽しみになる住まいです」と施主様の言葉。完成を迎えたあの日からまた新たな歴史を刻む。その原点到携わることが出来たことに感謝し、末永く家守りとしてお付き合いさせていただきたい。

新たな物語の始まりを見る  
築7年、新たな歴史ある古民家から  
引継ぐ想いが風格ある建物に受け継がれる

200年の歴史を持つ古民家。再生リフォームか新築か悩んだ施主様が選んだのは、こだわりの匠が建てる伝統的な本棟造りの住まい。



大きな2枚引戸の玄関

## 太陽の恩恵を暮らしの味方に!

今年は暖冬だと言われたものの、それでも冬の寒さは身に染みますね。

一般的に寒さから身を守るには、環境要因の工夫が必要と言われています。例えば、冷たい風が吹く中でも子供達が薄着で元気に遊んでいる姿を目にすることがあります。これは「運動量」によって体温が上がり、熱を持った体に変化するからです。

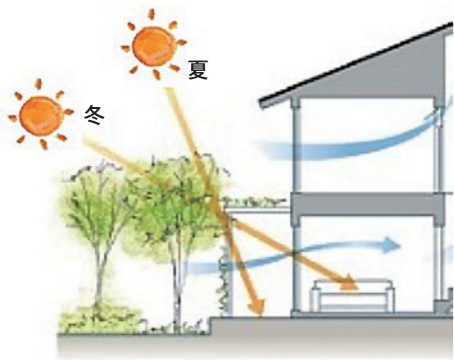
住宅に置き換えた場合、室内での運動量には限界があるため、他の5つの要因を工夫しながら取り入れることで寒さ対策を図ることができます。

太陽の光が降り注ぐ日当たりの良い部屋。想像するだけで暖かさを感じますね。しかし、「明るい部屋=暖かい部屋」ではないことをご存知ですか? 太陽光は物に当たることではじめて熱エネルギーに変わります。これは、太陽光によって床や壁、家具などが暖められる「輻射熱」によるものです。

### 【暖かさを感じる6要因】



### ◆太陽光 入り方の違い



- ◇夏と冬では太陽の高さが異なります。
- ◇春と秋のお彼岸の時季には真東から昇り、真西に沈みます。

### 【上手な取り入れ方・遮り方】

屋根庇の有無や長さの工夫。すだれやよしず、洋風のオーニングやスクリーンの取付けもオススメ! 庭に落葉樹を植えることで、緑葉が夏の日差しを避け、丸裸になった幹をすり抜けて冬の柔らかな光を室内の奥まで取り入れることも可能です。

**良い家は、内と外に繋がりが生まれます。だから四季の移り変わりも身近に感じられるのです。**

### ◆光に関してはこちらの見直しもオススメです

ご提案から見積、交換・取付けまで行っています!

#### カーテン



- ◆窓との間に空気の間をつくり、熱を閉じ込める効果があります。厚めの生地を選び、裾を長くして床との間に隙間が出来ないようにすることがポイント。
- ◆UVカットや光を反射し、外からの視線を遮る加工がなされたレースカーテンも人気です。

#### 照明器具



- ◆LED照明器具が普及しています。
- ◆調光が出来る器具が増えています。昼光のような白っぽい光~白熱灯のような橙色の光をコントロールすることで用途に合わせて雰囲気を演出できます。また、明るさも調整でき、こまめな調整で省エネ効果も期待できます。

## 自然と人が集まる空間づくり

室内の熱が奪われる損失率をもっとも高いのは「窓」です。断熱材に加え、もっと身近な窓の大きさや種類を見直すことで損失率は抑えることができます。

そこでおすすめなのが断熱と遮熱に優れた「Low-Eガラス」への交換です。ガラス面に薄い金属膜がコーティングされている窓のことで、複層ガラスに組み合わせるケースが増えています。金属膜を室内、室外のどちらかにコーティングするかで断熱性と遮熱性の優先順位が変わってきます。

例えば、西日や強すぎる日差しをなんとかしたい場合。金属膜を室外側にコーティングすることで外の熱が室内に伝わりにくい遮熱効果を得ることができます。反対に、陽当りの良い南側の窓には金属膜を室内側にコーティングすることで室内の熱が外に逃げていく断熱効果が得られます。

肌で感じられるのはもちろん、冷暖房効率も高まり、地球環境・家計に優しい暮らしの実現にも繋がります。

内側からの見た目も違和感なし

### 【もっと手軽に】



既存のサッシに樹脂内窓を取り付けることでガラスの間に空気の間ができ、複層サッシに近い効果を期待できます。



**一年を通して過ごしやすい空間づくりを「窓」からはじめてみてはいかがでしょうか。**

### ◆太陽光を取り入れるビフォー&アフター

#### 悩み

南側の窓の外に建物があるため、日中でも光が入らない

平屋部分であることから、天窗から明かりを取り込むプランをご提案!



自然の明かりだけでも十分な空間に!



階段の上り下りのない1階に寝室を移したい60代ご夫婦。普段使っていなかったお座敷を明るい寝室へとリフォーム。

#### —After—

天井から差し込む光と風が心地よい明るい空間へと大変身! 構造材の梁も顔を出し、床から天井から、無垢の木を肌で感じられる安らぎの一室に!

#### 施工事例

◆リフォーム施工事例はHP・松川情報センターにて随時更新中!

悩みの解決に繋がるヒントがあるかもしれません。

◆コーディネート・模様替えの相談も承っております! お気軽にどうぞ。

井坪工務店

検索



# わが家の天使たち

当社とオーナー様をつなぐ楽しいページ!  
「うちのペットが一番かわいい!」と思う、施主様からの投稿写真を  
ご紹介するコーナーです。ペット達の自然な表情にとっても癒されますネ。



**ダンボ**

小さな番犬!そこがとても頼もしい  
わが家の一員です!!



**こまち**

甲斐犬です。雪が大好き!いつも元  
気いっぱい癒されています(^o^)/



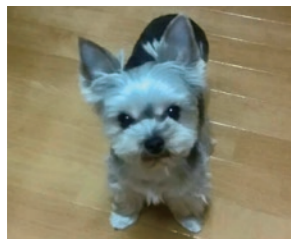
**パセリ**

自分が犬だと気づいていないところ  
が可愛い♥



**はちもく**

齢30年を目指して、長寿インコにな  
ってね!



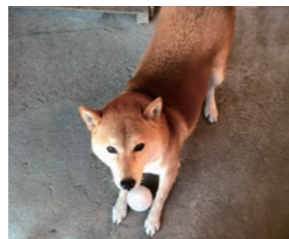
**レオ**

とってもやんちゃなはずらっ子の  
レオです。



**ロック**

猫のロックは、近所でタヌキと呼ば  
れています(笑)



**空(くう)**

空は小柄な犬だけど、とっても力持  
ちなのです!!



**鈴姫**

やんちゃな性格だけど、そこが可愛  
い鈴姫です。

■ペットの写真大募集! 【応募先】〒395-0004 長野県飯田市上郷黒田693 有限会社 井坪工務店 『わが家の天使たち』宛

## こよみ Language of a calendar 暦のこぼれ

暦には毎日素敵な記念日があります。  
その記念日に秘められた物語や  
謂われをご紹介します。



明治時代のポストと郵便局員

### 【郵政記念日】4月20日は日本で初めて郵便が生まれた日。

4月20日は郵政記念日。明治4年3月1日それまでの飛脚に  
代わり郵便制度が始まったことから制定され、最初は東京、大阪  
間で始まった。郵便のシンボルである「〒」のマークは明治18  
年、通信局と電信局が統合され通信省が誕生し、頭文字を取っ  
て「T」としたが、海外便を扱うようになると「T」は郵便不足を表  
すマークであることが判明。あわてて一文字加えカタカナのテを  
意味する「〒」になったという。

切手という名称は江戸時代からあり、もともとは持参人に表  
示された商品を引き渡す一種の商品券を意味するもので、当初  
は「切符手形」と称していたが、その後切手となった。また郵便と  
いう文字は郵の字は「人の脚力で文章を運ぶ」と意味し、便は

「音信、信書手紙」を表している。  
郵便の象徴といえばポスト。現在約18万個ほど設置され、珍  
しいところでは和歌山県すさみ町、静岡県伊豆市、沖縄県那覇市  
にある海底ポスト。現在まで約80通が投函され、無事届けられ  
ているという。ところでこのポスト、当初は黒だったそうですが、  
夜間トイレと間違え用をたす人が続出し、現在の赤に変わったと  
か。ちなみにポストの所在地は公表されておらず、機密扱いにな  
っている。聞けば気軽に教えてくれるそうです。

近年、連絡手段はメールですが、4月20日は明治初期に思い  
を馳せて知人、友人に一筆したためてみてはいかがですか。



なかじま あゆみ●息子と娘、二人の子の母親です。家事と育児に追われながらも、仕事も  
全力で!! 全てにおいて納得しないと気が済まない性格はこの仕事に向いているかも?

# わが社の がんばり人

vol.06

ひと

仕事の付き合いでしか知らない彼が 気まじめ一本に見える彼女が  
実はとっても楽しい一面を持っていた!  
当社社員にスポットを当ててその人となりを紹介します。

営業部 **中島 あゆみ** 2011年入社

WORK: 注文営業や展示場業務、お客様面談など

「**当社の看板である  
「信用・信頼」は  
自分自身で導き出す**」

### 建材業から 工務店への転身

私は、前職が建材業だったので井坪工務店の  
方々とは面識がありました。それがきっかけとな  
り、こちらでお世話になることに。そして、職場が変  
わり、営業職に…。

営業職といえば、直接お客様と関わることで仕  
事の重要な部分をしめることが多く、責任も大き  
いと感じます。身の引き締まる思いもあり、充実し  
た日々を送っています。



### お客様の 真意を掴む努力

注文営業の仕事を中心に、展示場やお客様面  
談などが主な仕事です。

お客様に対しては、まず「どんな生活を考えてい  
らっしゃるのか」という真意を掴むことに努力して  
います。「モノ」ではなく「コト」の考え方で、目に見  
えないコトを共有し、ご提案。目に見えないコトだ  
からこそ、その真意が掴めた時の達成感は何とも  
言えません。



### 当社の信用・信頼を さらに強くするために

自分の環境や経験、また女性としての立場を生  
かしつつ、子育て・家事・収納など「主婦目線」での  
思いなどを共感、ご提案させていただくことで、自  
社の職人や材料以外の信用・信頼を築けるよう努  
力しています。

お客様と、目には見えないソフト面でのお付き  
合いをすることで信用・信頼がよりアップし、さら  
に見えるハード面へと良い形で進むと信じていま  
す。

これからもそんな思いを胸に頑張っていきたい  
と思っています。



### 「スタッフとの打ち合わせ」

大事なことは得意のパソコンで素早くチェック&メモリー。

### 上司からの ひとこと



営業推進  
リーダー  
**北原 美輪子**

社内の誰よりもお客様の心に寄り  
添っていると感じます。そのコミュ  
ニケーション能力の高さをこれか  
らも様々な場面で発揮していただ  
さい。



**パソコン&スマホ  
&USBメモリー**

私の仕事の「三種の神器」。  
これがないと始まりません。

### 仕事の マスト アイテム

## 01 昨年大活躍だった二人です!

経営計画発表会にて  
優秀社員を表彰いたしました。

1月23日 経営計画発表会の中で、優秀社員表彰がありました。  
お客様、社員、業者さんの誰とも良いコミュニケーションを取って、いつも現場や社内の潤滑油になってくれている松村さん、昨年一番多くのお客様を幸せへと導いた小林さんの2人が選ばれました。  
さらなる活躍を期待します。



## 02 “勉強になった”の声多数! イベント情報はここから



資金セミナー、土地セミナー、バスツアーと、  
1月2月は勉強会を中心にイベントを開催致しました。

家づくりをお考えのお客様には、家づくりを取り巻く環境や健康に住まうための情報、また一番大切なお金の話など、皆さん真剣な表情で参加してくださっています。  
お施主様向けのイベントも計画しておりますので、ホームページのイベントカレンダーをチェックしてみてください!

## 03 お住まいの健康診断をしませんか?



定期点検訪問のご案内

今年もインフルエンザが流行りましたね!  
家も人の身体と同様に、日頃のメンテナンスが大事となってきます。  
弊社では現在、定期点検をさせていただいております。  
詳細は別紙チラシをご覧ください。

### ■巻末ハガキの使い方

巻末ハガキは読者の皆様のご意見や要望をお聞きし、本誌作成の参考にするための大切な「ご意見箱」のようなハガキです。またプレゼントの応募にも利用できますので、ご活用下さい。

- **ご意見・ご感想&プレゼント応募**…当社に対するご意見やご感想、プレゼント希望の有無をご記入いただく欄です。ご意見・ご感想は、本紙制作の参考にさせていただきます。
- **ご紹介**…お知り合いの方で、建築予定のある方をご紹介いただく欄です。
- **リフォーム**…リフォームについて知りたい方、リフォームをお考えの方、該当項目にご記入の上、お送り下さい。
- **アフターメンテナンス**…定期点検に該当する方、アフターメンテナンスをご希望の方、該当項目にご記入の上、お送り下さい。
- **資料請求**…当社商品やご希望の土地情報等の資料が請求できます。ご希望をご記入の上、お送り下さい。資料を送付させていただきます。

※個人情報保護法にもとづき、お客様の個人情報は厳重に保管、管理いたします  
※当社では、お客様のお名前、ご住所などの個人情報は、目的以外には一切使用いたしません  
※ご記入いただいた個人情報は、お客様の了承を得た場合を除き、第三者に提供・開示いたしません



抽選で下記の商品をプレゼント!  
ご希望の方は巻末ハガキに必要事項  
をご記入の上、ぜひご応募下さい。

※プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。  
●応募締切:2016/5/31(火)



### 石垣島はちみつ

みつばちが蜜源とする、主に沖縄と八重山諸島石垣島に生息するシロバナセンダン草の花と、島に咲く南国の花々の蜜だけを瓶詰めにした自然養蜂のはちみつです。

■発売元:株式会社 石垣島はちみつ ■内容量:50g×1瓶  
※写真はイメージです。(プレゼントはお1人様1瓶のみとなります。)